



新しいコンテンツ、始めました

スキンヘッドカメラの2人による、ばんえい競馬初心者にも分かりやすい予想チャンネル「**ばんえい競馬 予想動画 轡馬道**」



ばん馬たちの日ごろの様子やばんえい競馬の裏側をお伝えする「**ばんば通信**」



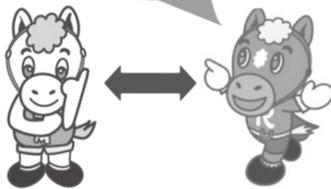
YouTubeをチェックしてね

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策 実施中

帯広競馬場では、皆さんが安心してご来場いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しています。来場の際には、マスクの着用や手指の消毒などにご協力をお願いします。



来場者同士もマスクをして距離を取って楽しもう



**真夏の決戦！柳月杯 第32回ばんえいグランプリ**  
ばんえいグランプリは、ファン投票で選ばれた人気馬・実力馬が勢ぞろいする夏の一大イベント。ばんえいファンや、興味がある人は、ぜひ一度ご覧ください。

開催日 8月16日(日)  
発走時刻 20時10分(予定)  
ばん馬動画を公開中！  
ばんえいグランプリの開催に合わせて、ばんえい競馬を支えるばん馬の生産者の皆さんを紹介する動画を、公式ホームページで公開しています。普段見る機会のない牧場でのばん馬の様子や、人気馬にまつわる生産者の皆さんのエピソードを、ぜひご覧ください。

公式ホームページでばん馬動画を公開中！

お問い合わせ ばんえい振興課 (西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施して開催しています。

ばんえい十勝 **真夏の人気馬 決定戦！**  
柳月杯第32回ばんえいグランプリ



ばんえい十勝 検索

8月の重賞競走のご案内

- 8月2日(日) **ばんえい大賞典 (BG3)**  
3歳3冠ロードの開幕戦！  
世代頂点への第1歩
- 8月30日(日) **はまなす賞 (BG3)**  
3歳馬と4歳馬の世代交流重賞！  
世代のプライドをかけた1戦



第31回ばんえいグランプリ優勝馬 コウシュハウカイ号

このような行為は虐待にあたります

高齢者虐待の具体例

- 身体的虐待  
叩く、つねる、殴る、蹴る  
身体を拘束する
- 介護・世話の放棄・放任  
栄養失調の状態のままにする  
異臭がするほど入浴させない
- 心理的虐待  
怒鳴る、ののしる、悪口を言う  
排せつ失敗に対して恥をかかせる
- 性的虐待  
みだらな行為をしたり強要する  
懲罰的に裸にして放置する
- 経済的虐待  
本人のお金なのに使わせない  
本人の意思に反して年金を使う



高齢者虐待とは

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」では、高齢者(65歳以上)の虐待について、家族などの養護者による虐待、または要介護施設従事者などによる虐待と定義しており、「身体的虐待」「介護・世話の放棄・放任」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」の五つが挙げられます。

虐待をしている人に自覚があるとは限りません

虐待かと思ったらまずは相談を

虐待に気付いた人は、市町村への通報義務があることが法律で定められています。

みんなで防ごう **高齢者虐待**

安心できる地域づくりを目指して

近年、家族や親族などが高齢者の人権を侵害する「高齢者虐待」が問題となっています。高齢者の中には、つらくても声を出せない人がいます。あなたの身近にも、そんな人はいませんか？

お問い合わせ 介護高齢福祉課 (市庁舎1階、☎65・4145)

表 地域包括支援センター

お住まいの地域	センター名	住所	電話
鉄南	帯広至心寮	西5南30	☎24・1150
東	帯広至心寮(東)	東13南6	☎66・4613
西	帯広市社会福祉協議会	公園東町3	☎21・3292
川北	帯広市社会福祉協議会(北)	西14北1	☎66・4535
広陽・若葉	愛仁園	西16南28	☎49・2338
西帯広・開西	愛仁園(西)	西24南1	☎61・1616
川西・大正	帯広けいせい苑	川西町西1線47	☎53・4771
南	帯広けいせい苑(南)	西5南37	☎67・8437

※地域包括支援センター ケアマネージャーや保健師などが中心となって、高齢者やその家族を支える機関です。虐待の早期発見・防止や、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな相談を受けたり、支援を行っています。

められています。虐待は、早期に第三者が介入することにより、深刻化を防ぐことができます。虐待かと思ったら、一人で抱え込んだり悩んだりせず、介護高齢福祉課や、地域包括支援センター※にご相談ください。(表)

高齢者が安心して暮らしていくために

地域の皆さんの理解と支えがあれば、高齢者も介護する家族も、安心して自分らしい暮らしを続けやすくなります。さりげない手助けや見守り、声掛けなど、ちょっとした勇気や優しさが、安全・安心なまちづくりにつながります。